

【全国研修会参加報告】

2024年6月29日・30日

第59回日本理学療法学会学術研修大会 in 東京に参加して

名前：菅原紘子・大淵裕

【感想】

【菅原】重複障害について再考する～疾患別リハから重複障害へ～というセッションがとても勉強になりました。高齢の患者さんが多い当院にとっては、脳血管疾患であっても運動器や内部障害を考慮して理学療法を行うというような場面はとても多いです。個人的には特に、腎臓リハビリテーションや糖尿病の代謝異常は、フィジカルアセスメントの精度をあげるために、もう1度しっかり勉強していきたいと思いました。重複している障害も含めて標準的な治療をしっかり提供できるようにしていきたいです。

【大淵】急性期・回復期・生活期リハにおける中長期計画 Vision2040 の講義が勉強になりました。医療費増大の中で効果的・効率的な運用が求められること、システム面の見直しや効果的な運用の重要性が示唆されました。現在は2つ以上の慢性疾患を有しているマルチモビリティの状態の患者さんが増えつつあります。その中で効果的に成果を出すためには多職種協働が重要と感じました。日々の連携を大切にしながら患者さんのためのより良いリハビリを追求したいと思いました。

2024 The 59th annual training workshop for clinical skills of Japanese Physical Therapy Association in TOKYO

第59回 日本理学療法学会学術研修大会 in 東京

59th NICHIKEN 2024.6.29-30 in Tokyo

2024 Tokyo Japan 抄録集

技能が つながる 未来への 進歩
理学療法士としての価値軸を育む

会期 2024年6月29日30日
会場 東京国際フォーラム

大会長 豊田 輝 (帝京科学大学)
副大会長 池田由美 (東京都立大学)
準備委員長 岡安 健 (東京医科歯科大学病院)

主催 日本理学療法士協会 JPTA
担当学会 東京理学療法士協会

